

平成31年度

市政の運営方針

平成31年2月27日

○ 総括事項

私は、昨年4月に、市民の皆様からの負託を受け、市政を担わせていただくこととなりました。

近年では人口減少、少子高齢化、さらには行財政運営の改善といった課題も顕著化してまいりましたことから、4年間の市政運営に当たりまして、「市民とともに進める」「未来へのバトン」「配慮する社会」という3点の基本理念を軸にしてまいりました。

そして、この基本理念のもと、東金市が魅力的なまちであり続け、将来に向けてさらなる発展を遂げるために、私は「改革・前進」を合言葉に、6つのビジョンを柱として各施策の取り組みを進めてまいりました。

1つ目は「市民参加、地域の力を生かし、元気なまちに」でございます。

市民一人一人の力を集めた地域力と多様な資源を生かしながら、人材育成や仕組みづくりを行ってまいりたいという観点から、本年1月下旬から2月にかけて、次期総合計画策定にあたり、市民の皆様方のご意見、ご要望等を直接お聞きす

るため、市内12カ所で地区懇談会を開催いたしました。

2つ目は「子供たちの今と将来のために」でございます。

市民の方々のニーズを踏まえながら、子育て環境、教育環境の充実を図ってまいりたいという観点から、東金市八坂台地先に新たに定員105名の民間保育所の建設を進めたところ、本年4月より開設することとなりました。

3つ目は「地域の産業と経済の活性化」でございます。

地域資源を生かすとともに、新たな産業振興の構想を描き、農業、商業、工業の再活性化を図ってまいりたいという観点から、昨年4月より供用開始しております「道の駅みのりの郷東金の加工場」を農産物の高付加価値化につながる6次産業化の拠点施設と位置づけ、本市を含めた地域全体の産業の活性化に発展させていくモデルケースとなるよう、関係団体や近隣自治体との協力・連携を進めてまいりました。

4つ目は「住みやすいまち、便利さをさらに向上」でございます。

交通の利便性をさらに高め、人と物が行き交うまちを目指すという観点から、市内循環バスの充実を検討した結果とし

て、来年度より既存の市内循環バスについて土曜日運行を開始することといたしました。

5つ目は「まちの安全、ひとの安全、地域の環境を守るまちづくり」でございます。

自然災害に強く、事故、犯罪のない安全なまちづくりを推進するという観点から、新たに昨年5月より消防防災課の公式ツイッターを立ち上げたほか、豊かな自然と住みやすい環境を守るという観点から、本市の豊かな自然環境を将来にわたって守る取り組みについて検討しているところでございます。

最後の6つ目は「東千葉メディカルセンターの経営健全化」でございます。

開設初年度から資金不足に陥り、毎年度赤字の状況が続くなど、市財政に対する影響も看過できない状況であることから、喫緊の課題として対応してまいりましたところ、先般、千葉県から30億円の別枠支援を確保することができました。併せて、千葉県に対し近隣団体からの財政支援を先導して行うこと、定型恒常的支援を行うこと等を要望いたしましたところ

でございます。

また、6つのビジョンに加え、喫緊の課題である「財政の立て直し」にも注力してまいりました。

「平成31年度一般会計当初予算は、財政調整基金を繰り入れない予算とすること」「4年間で財政調整基金を18億円にすること」「慣例慣習に囚われない予算事業の見直しをすること」、これらを達成するため、就任早々、5月には庁内職員との意見交換を行いました。7月23日には、平成31年度以降の事業、予算についての指示命令である「トップマネジメント」を発令しました。併せて、できる限り市民活動や団体活動、イベントに出席し意見交換を行いました。

本年1月には、予算見直しについて幹部職員への説明と意見交換、指示を行い、トップマネジメント的な査定を実施しました。

その結果といたしまして、平成31年度は財政調整基金を繰り入れない予算を編成することが出来ました。就任時点で13億円であった基金の残高は引き続き繰り入れをしなけれ

ば、平成31年度末には15億円程度にまで回復する見込み
であります。これは「慣例慣習に囚われない予算事業の見直
し」ができたからこそであると考えております。

3つの理念・6つのビジョン、さらには喫緊の課題への対
応を通して「改革・前進」は、着実に進歩しているものと考
えております。

今回上程させていただきます平成31年度当初予算は、私
自らが指揮して企画し目標を掲げた「政策方針、政策」であ
り、私自らが指揮して編成した初めての予算であります。

明るい兆しが見え始めたとはいえ、本市の財政状況は依然
として厳しい状況であります。削るべきものは削る一方、
必要な事業への投資は惜しまないつもりでおりますので、「循
環バス土曜日運行」「こども医療費の高校生までの拡大」「学
校、幼稚園のエアコン整備」など、未来への投資に係る事業
についての予算化を指示し、計上させていただいたところで
ございます。

本年1月下旬からは、次期総合計画策定に向けた地区別懇談会を行っております。

次年度以降も「改革・前進」がさらなる進歩を遂げられるよう、将来に備えた計画作りを、市民の皆様とともに進めてまいります。